

第3次みやぎ21健康プラン 目標値一覧

資料4

項目		ベースライン値	目標	目標設定の考え方	データソース	(参考) 国の現況値	
健康寿命の延伸	健康寿命の延伸	男性 (R1) 72.90年	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加	国の目標	厚生労働科学研究	(R1) 72.68	
		女性 (R1) 75.10年				(R1) 75.38	
健康格差の縮小	健康寿命の市町村格差の縮小	男性 (R2) 上位圏域80.70年 下位圏域78.64年 女性 (R2) 上位圏域84.93年 下位圏域82.72年	健康寿命の上位圏域の増加分を上回る下位圏域の増加	独自に設定 (国の目標設定の考え方を参照)	健康推進課調べ	(R1) 都道府県上位1/4 73.38年 都道府県下位1/4 71.82年 (R1) 都道府県上位1/4 76.50年 都道府県下位1/4 74.63年	
	肥満者 (BMI≥25) の割合の減少 (40～74歳)	男性 (R3) 39.9% 女性 (R3) 25.1%	全国平均を上回る改善	独自に設定	NDBオープンデータ (特定健診データ) (厚生労働省) ※第2次プランでは県民健康・栄養調査結果を使用	(R3) 37.1%	
	メタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少 (40～74歳)	(R3) 32.2%				(R3) 21.8%	
	運動の習慣者の割合の増加 (40～74歳)	男性 (R3) 28.4% 女性 (R3) 23.2%				(R3) 29.1%	
	喫煙率の減少 (40～74歳)	男性 (R3) 36.7% 女性 (R3) 11.1%				(R3) 29.3%	
	妊娠中の飲酒をなくす	0.5%				(R3) 23.8%	
	妊娠中の喫煙をなくす	1.4%				(R3) 32.5%	
			0%	第2次プランからの継続	健康推進課調べ	(R3) 9.7%	
				第2次プランからの継続	健康推進課調べ	(R1) 1.0%	
				第2次プランからの継続	健康推進課調べ	(R3) 1.9%	
予防対策の充実	メタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少 (40～74歳) (再掲)	(R3) 32.2%	23%	第2次プランからの継続	特定健康診査・特定保健指導に関するデータ (厚生労働省)	(R3) 29.1%	
	糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者数の減少	(R3) 256人	238人	国の目標設定の考え方を参照 (減少率7%を乗じて設定)	わが国の慢性透析療法の現況 (日本透析医学会)	(R3) 15,271人	
	脳血管疾患による年齢調整死亡率の減少	男性 (R3) 111.5 女性 (R3) 70.4	減少かつ全国値を下回る	独自に設定 (第2期宮城県循環器病対策計画)	健康推進課算出	(R3) 93.7	
	心疾患による年齢調整死亡率の減少	男性 (R3) 191.3 女性 (R3) 121.1				(R3) 55.1	
	低栄養 (BMI≤20) の高齢者の割合の低下 (65歳以上)	男性 14.1% 女性 20.5%	10%	15%	独自に設定 (国の目標値の減少率をもとに算出し、丸め値で設定)	県民健康・栄養調査	(R3) 193.8 (R3) 110.2 (R1) 12.4% (R1) 20.7%
	過去半年以内に、趣味やスポーツ、ボランティアなどの活動を実施している高齢者の割合の増加 (65歳以上)	35.4%	45%	国の目標設定の考え方を参照 (現況より10%増加させることを目標とし、丸め値で設定)	県民健康・栄養調査	今後把握 (いずれかの社会活動 (就労・就学を含む) を行っている高齢者 (65歳以上) の割合)	
	スマートみやぎ健民会議の会員数の増加	919	1800	独自に設定	健康推進課調べ	—	
スマートみやぎ健民会議の優良会員数の増加	21	40	—				
スマートみやぎ健民会議応援企業数の増加	49	70	—				
ヘルスサテライトステーションの数の増加	施設数 149 市町村数 21市町村	300 35市町村	—				
健康的で持続可能な食環境づくりに参画する団体の増加	今後把握	今後設定	—				
運動教室や運動イベント等を実施している市町村の数	20市町村 (参考値)	35市町村	第2次プランからの継続	健康推進課調べ	—		
歩きやすい環境づくりに取り組んでいる市町村の増加	26市町村	35市町村	第2次プランからの継続	健康推進課調べ	滞在快適性等向上区域 (まちなかウォークアップ区域) を設定している市町村数 73⇒100		
受動喫煙の機会を有する人の割合の低下	家庭 (毎日) 12.6% 職場 (毎日・時々) 22.0% 飲食店 (毎日・時々) 13.8%	0%	第2次プランからの継続	県民健康・栄養調査	(R1) 6.9% (R1) 職場26.1%、学校3.4% (R1) 29.6%		
過去半年以内に、趣味やスポーツ、ボランティアなどの活動を実施している人の割合の増加 (20歳以上)	38.8%	45%	第2次プランからの継続	県民健康・栄養調査	—		
栄養・食生活	適正体重を維持している者の増加 (BMI18.5以上25未満 (65歳以上は、BMI20をこえ25未満) の者の割合)	56.6%	66%	国の目標値	県民健康・栄養調査	(R1) 60.3%	
	児童・生徒における肥満傾向児の割合の減少	(R3) 13.23%	10.96%	独自に設定 全国平均 (R3) を目指す	学校保健統計調査 (文部科学省)	(R3) 10.96%	
	食塩摂取量の減少 (20歳以上)	男性 11.2g 女性 9.7g	7.5g 6.5g	日本人の食事摂取基準 (2020年版) の目標量	県民健康・栄養調査	(R1) 10.9g	
	野菜摂取量の増加	275g	350g			(R1) 9.3g	
	果物摂取量の改善	83.7g	200g	国の目標	県民健康・栄養調査	(R1) 281g (R1) 99g	
	朝食欠食者の割合の減少 (20～30歳代)	男性 18.9% 女性 19.7%	10% 10%	独自に設定 (現況より10%減少させることを目標とし、丸め値で設定)	県民健康・栄養調査	— —	
	主食・主菜・副菜を組み合わせている人者の割合の増加	73.3%	80%	第2次プランからの継続、第4期宮城県食育推進プランに合わせて設定	県民健康・栄養調査	—	
	食事の適量を心がけて食べるようにしている人の割合の増加	82.8%	95%	独自に設定 (現況より10%増加させることを目標とし、丸め値で設定)	県民健康・栄養調査	—	
	栄養成分表示を参考にしている人の割合の増加	45.4% (参考値)	60%	第4期宮城県食育推進プランに合わせて設定	県民健康・栄養調査	—	
	健康的で持続可能な食環境づくりに参画する団体の増加 (再掲)	今後把握	今後設定	—	健康推進課調べ	—	
	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合の低減	20歳以上男性 17.6% 20歳以上女性 9.4%	15% 8.5%	独自に設定 (国の目標設定の減少率をもとに算出)	県民健康・栄養調査	(R1) 14.9% (R1) 9.1%	
	適度な飲酒量を知っている人の割合の増加	20歳以上 54.6%	100%	第2次プランからの継続	県民健康・栄養調査	—	
	妊娠中の飲酒をなくす (再掲)	0.5%	0%	第2次プランからの継続	健康推進課調べ	(R1) 1.0%	
身体活動・運動分野	日常における歩数の増加	20～64歳男性 7263歩 20～64歳女性 6413歩 65歳以上男性 4402歩 65歳以上女性 5018歩	8000歩以上 6000歩以上	国の目標	県民健康・栄養調査	(R1) 7,864歩 (R1) 6,685歩 (R1) 5,396歩 (R1) 4,656歩	
	日常における歩数が目標値未満の者の割合の減少 (20～64歳：8000歩、65歳以上：6000歩)	20～64歳男性 67.7% 20～64歳女性 74.0% 65歳以上男性 71.2% 65歳以上女性 65.7%	60%以下	独自に設定 (現況から10%改善することを目標とし、丸め値で設定)	県民健康・栄養調査	—	
	運動の習慣化 (運動習慣者の割合の増加)	20～64歳男性 15.5% 20～64歳女性 12.2% 65歳以上男性 24.8% 65歳以上女性 16.8%	25% 30%	独自に設定 (現況から10%改善することを目標とし、丸め値で設定)	県民健康・栄養調査 ※国の算出方法に合わせる	(R1) 23.5% (R1) 16.9% (R1) 41.9% (R1) 33.9%	
	運動やスポーツを習慣的に行っていないこどもの減少 (1週間の総運動時間 (体育授業を除く。) が60分未満の児童の割合)	小学5年生男子 9.8% 小学5年生女子 17.0%	4.9%以下 8.5%以下	国の目標設定の考え方を参照 (現況より半減する目標を設定)	宮城県小・中・高等学校児童生徒体力・運動能力調査	8.8% 9.8%	
	自分の1日の歩数を知っている人の増加	33.2%	65%	独自に設定 (歩数を知らない人66.8%の5割が歩数を知ること目標として、丸め値で設定)	県民健康・栄養調査	—	

項目		ベースライン値	目標	目標設定の考え方	データソース	(参考) 国の現況値	
	運動教室や運動イベント等を実施している市町村の数 (再掲)	参考値 (20市町村)	35市町村	第2次プランからの継続	健康推進課調べ	—	
	歩きやすい環境づくりに取り組んでいる市町村の増加 (再掲)	26市町村	35市町村	第2次プランからの継続	健康推進課調べ	—	
たばこ	喫煙の健康影響に関する知識の普及 (20歳以上)	肺がん	82.7%	100%	第2次プランからの継続	県民健康・栄養調査	—
		ぜんそく	68.5%				
		気管支炎	69.9%				
		心臓病	50.9%				
		脳卒中	54.6%				
		胃潰瘍	35.3%				
		妊娠等	78.7%				
		歯周病	44.4%				
	COPD	61.7%					
	20歳未満の喫煙をなくす	— (今後把握)	0%	第2次プランからの継続	(今後把握)	(R3) 0.6%	
20歳以上の喫煙率の減少	総数	18.8%	12.0%	第2次プランからの継続 <small>(現在習慣的に喫煙をしている者のうち、やめたいと考えている者がやめた場合の喫煙率)</small>	県民健康・栄養調査	(R1) 16.7%	
	男性	31.1%	20.0%			(R1) 27.1%	
	女性	7.2%	4.0%			(R1) 7.6%	
妊娠中の喫煙をなくす (再掲)	1.4%	0%	第2次プランからの継続	健康推進課調べ	(R3) 1.9%		
受動喫煙の機会を有する人の割合の低下	家庭 (毎日)	12.6%	0%	第2次プランからの継続	県民健康・栄養調査	(R1) 6.9%	
	職場 (毎日・時々)	22.0%				(R1) 職場26.1%、 学校3.4%	
	飲食店 (毎日・時々)	13.8%				(R1) 29.6%	
休養・睡眠	睡眠による休養がとれている者の割合	79.5%	85%	第2次プランの目標値をもとに算出 (睡眠による休養がとれていない人の割合の減少_目標15%)	県民健康・栄養調査	(H30) 78.3%	
	睡眠時間が十分に確保できている者の増加 (睡眠時間6~9時間 (60歳以上は6~8時間) の者の割合)	— (今後把握)	— (今後設定)	今後検討	県民健康・栄養調査	(R1) 54.4%	
	ストレスを上手に解消できている人の割合の増加(解消方法は問わず)	59.7%	80%	独自に設定 (第2次プランのBL並に回復させる)	県民健康・栄養調査	—	
	悩みなどを気軽に相談できる相手がいる者の増加	61.0%	70%	独自に設定 (現況から10%改善することを目標とし、丸め値で設定)	県民健康・栄養調査	—	
	自殺死亡率(人口10万対)の減少	14.1	(R8) 12.1	宮城県自殺対策計画の目標値	人口動態統計	—	
歯と口腔の健康	3歳未満のむし歯のない人の割合の増加	(R3) 87.4%	95%以上	第3期宮城県歯と口腔の健康づくり 基本計画の目標値	地域保健・健康増進事業報告 (厚生労働省)	(R3) 89.8%	
	12歳児の一人平均むし歯の本数	(R3) 0.9本	0.6本以下		学校保健統計調査 (文部科学省)	(R3) 0.62本	
	50歳以上における咀嚼良好者の割合の増加	66.5%	80%以上	第3期宮城県歯と口腔の健康づくり 基本計画の目標値	県民健康・栄養調査	(R1) 71.0%	
	歯周疾患やむし歯の予防により、80歳で20歯以上の自分の歯を有する人の割合の増加	44.1%	85%以上	第3期宮城県歯と口腔の健康づくり 基本計画の目標値	県民健康・栄養調査	—	
	過去1年間に歯科検診を受診した人の割合の増加	46.2%	65%以上	第2次プランからの継続	県民健康・栄養調査	(H28) 52.9%	
がん	がんによる年齢調整死亡率の減少 (75歳未満)	(R3) 67.7	減少 (検討中)	第4期宮城県がん対策推進計画の 目標値	国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(厚生労働省人口動態統計) 基準人口は昭和60年モデル人口を使用	(R3) 67.4	
	がんの罹患率の減少	(R1) 395.0	減少 (検討中)		国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(全国がん登録) 基準人口は昭和60年モデル人口を使用	(R1) 387.4	
	がん検診受診率の向上	胃がん	55.30%	70% (検討中)	第4期宮城県がん対策推進計画の 目標値	県民健康・栄養調査	—
		肺がん	72.20%				
大腸がん		59.80%					
子宮がん		54.30%					
乳がん	58.70%						
循環器疾患	メタボリックシンドロームの概念を知っている人の割合の増加	60.9%	80%	第2次プランからの継続	県民健康・栄養調査	—	
	メタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少 (再掲)	(R3) 32.2%	23%	第2次プランからの継続	特定健康診査・特定保健指導に関するデータ (厚生労働省)	(R3) 29.1%	
	特定健診の受診率の向上	(R3) 61.7%	70%	国の目標値		(R3) 56.2%	
	特定健診保健指導の実施率の向上	(R3) 25.1%	45%		宮城県循環器病対策推進計画 (第2期)の目標値	(R3) 24.7%	
	脳血管疾患による年齢調整死亡率の減少	男性	(R3) 111.5	減少かつ全国値を下回る		健康推進課算出 (人口動態統計から県が入手できる統計を基に算出。 基準人口は平成27年モデル人口を使用)	(R3) 93.7
		女性	(R3) 70.4				(R3) 55.1
心疾患による年齢調整死亡率の減少	男性	(R3) 191.3	(R3) 193.8		(R3) 110.2		
女性	(R3) 121.1						
糖尿病	糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者数の減少	(R3) 256人	238人	第8次宮城県地域医療計画の目標値	わが国の慢性透析療法の現況 (日本透析医学会)	(R3) 15,271人	
	メタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少 (再掲)	(R3) 32.2%	23%	第2次プランからの継続	特定健康診査・特定保健指導に関するデータ (厚生労働省)	(R3) 29.1%	
	特定健診の受診率の向上 (再掲)	(R3) 61.7%	70%	国の目標値		(R3) 56.2%	
	特定健診保健指導の実施率の向上 (再掲)	(R3) 25.1%	45%			(R3) 24.7%	
COPD	喫煙の健康影響に関する知識の普及_COPD (再掲)	61.7%	100%	第2次プランからの継続	県民健康・栄養調査	—	
	COPDの死亡率の減少 (人口10万対)	11.1	10.0	国の目標	人口動態統計 (厚生労働省)	(R3) 13.3	
子ども	児童・生徒における肥満傾向児の割合の減少 (再掲)	(R3) 13.23%	10.96%	独自に設定 全国平均 (R3) を目指す	学校保健統計調査 (文部科学省)	(R3) 10.96%	
	運動やスポーツを習慣的に行ってないこどもの減少 (1週間の総運動時間 (体育授業を除く。)が60分未満の児童の割合) (再掲)	小学5年生男子	9.8%	4.9%以下	国の目標設定の考え方を参照 (現況より半減する目標を設定)	宮城県小・中・高等学校児童 生徒体力・運動能力調査	8.8%
		小学5年生女子	17.0%	8.5%以下			9.8%
高齢者	低栄養 (BMI≦20) の高齢者の割合の低下 (65歳以上) (再掲)	男性	14.1%	10%	独自に設定 (国の目標値の減少率をもとに算出し、丸め値で設定)	県民健康・栄養調査	(R1) 12.4%
		女性	20.5%	15%			(R1) 20.7%
	運動の習慣化 (運動習慣者の割合の増加) (65歳以上)	男性	24.8%	30%	独自に設定 (現況から10%改善することを目標とし、丸め値で設定)	県民健康・栄養調査	(R1) 41.9%
		女性	16.8%				(R1) 33.9%
過去半年以内に、趣味やスポーツ、ボランティアなどの活動を実施している高齢者の割合の増加 (65歳以上)	35.4%	45%	国の目標設定の考え方を参照 (現況より10%増加させることを目標とし、丸め値で設定)	県民健康・栄養調査	今後把握 (いずれかの社会活動 (就労・就学を含む) を行っている高齢者 (65歳以上) の割合)		
女性	適正体重を維持している者の増加			独自に設定 (国の目標値の減少率をもとに算出し、丸め値で設定)	県民健康・栄養調査	(R1) 22.5%	
	・20~30歳代女性のやせ (BMI<18.5)	13.1%	10%			(R1) 18.1%	
	・40~60歳代女性の肥満者 (BMI≧25)	31.5%	20%			(R1) 20.7%	
	・65歳以上女性のやせ (BMI≦20)	20.5%	15%				
	朝食欠食者の割合の減少 (20~30歳代) (再掲)	19.7%	10%	独自に設定	県民健康・栄養調査	—	
	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合の低減 (20歳以上) (再掲)	9.4%	8.5%	独自に設定	県民健康・栄養調査	(R1) 9.1%	
	妊娠中の飲酒をなくす (再掲)	0.5%	0%	第2次プランからの継続	健康推進課調べ	(R1) 1.0%	
妊娠中の喫煙をなくす (再掲)	1.4%	0%	第2次プランからの継続	健康推進課調べ	(R3) 1.9%		